

## 令和4(2022)年度とちぎ医療福祉機器産業振興協議会 事業報告

計 画 概 要	実 施 事 業																				
<p><b>1 ネットワーク形成支援</b> 産学官のネットワークを形成し、相互交流、情報交換等を促進</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;"><b>共 通</b></p> <p>(1) とちぎ産業振興協議会及びとちぎ未来技術フォーラムの会員数</p> <p style="text-align: right;">(社・団体)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">組 織</th> <th style="width: 15%;">R4年度当初 会員数</th> <th style="width: 15%;">入退会数</th> <th style="width: 40%;">現会員数 (R5. 4. 14)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自動車</td> <td style="text-align: center;">384</td> <td style="text-align: center;">+13</td> <td style="text-align: center;">397</td> </tr> <tr> <td>航空宇宙</td> <td style="text-align: center;">236</td> <td style="text-align: center;">+9</td> <td style="text-align: center;">245</td> </tr> <tr> <td>医療福祉機器</td> <td style="text-align: center;">291</td> <td style="text-align: center;">+7</td> <td style="text-align: center;">298</td> </tr> <tr> <td>フォーラム (AI・IoT・ロボット、光学、 環境・新素材)</td> <td style="text-align: center;">330</td> <td style="text-align: center;">+14</td> <td style="text-align: center;">344</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>(2) プロジェクト推進会議及びフォーラム幹事会(書面開催) 幹事、顧問等により、令和4年度事業の内容等について協議 ・令和4年3月、書面により実施</p> <p>(3) とちぎ産業振興協議会定期総会、とちぎ未来技術フォーラム幹事会等 ・開催日：R4. 5. 17(火) ・会場：ホテル東日本宇都宮</p> <p>○とちぎ産業振興協議会定期総会(自動車、航空宇宙、医療福祉機器) ・議題：令和3(2021)年度事業報告について 令和4(2022)年度事業計画(案)について ・参加：自動車…203社・団体(含委任状153)、50名 航空宇宙…136社・団体(含委任状100)、36名 医療福祉機器…165社・団体(含委任状121)、44名 ・結果：各議案について原案どおり承認</p> <p>○とちぎ未来技術フォーラム幹事会 ・議題：令和3(2021)年度事業報告について 令和4(2022)年度事業計画(案)について 幹事選任(案)について ・参加：27社・団体(含委任状7)、20名 ・結果：各議案について原案どおり承認</p> <p>○とちぎ産業振興協議会・とちぎ未来技術フォーラム合同講演会 ・演題：「カーボンニュートラル時代に企業が求められる対応 ～製造業における脱炭素化の必要性と取組みの第一歩～」 講師：(株)日立コンサルティング シニアマネージャー 渡邊 和磨 氏 ・参加：213名</p> <p>(4) コーディネート事業 (公財)栃木県産業振興センターにコーディネーターを配置し、協議会及びフォーラム会員企業からの各種相談等に対応した。</p>	組 織	R4年度当初 会員数	入退会数	現会員数 (R5. 4. 14)	自動車	384	+13	397	航空宇宙	236	+9	245	医療福祉機器	291	+7	298	フォーラム (AI・IoT・ロボット、光学、 環境・新素材)	330	+14	344
組 織	R4年度当初 会員数	入退会数	現会員数 (R5. 4. 14)																		
自動車	384	+13	397																		
航空宇宙	236	+9	245																		
医療福祉機器	291	+7	298																		
フォーラム (AI・IoT・ロボット、光学、 環境・新素材)	330	+14	344																		

計 画 概 要	実 施 事 業																				
	<table border="1" data-bbox="571 248 1347 577"> <thead> <tr> <th>分 野</th> <th>コーディネーター等</th> <th>相談等対応件数 (R5. 3. 31現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自動車</td> <td>岩下 隆</td> <td>55件</td> </tr> <tr> <td>航空宇宙</td> <td>田代 真一</td> <td>85件</td> </tr> <tr> <td>医療福祉機器</td> <td>鈴木 薫</td> <td>113件</td> </tr> <tr> <td>AI・IoT・ロボット</td> <td>とちぎビジネスAIセンター</td> <td>271件</td> </tr> <tr> <td>光学</td> <td rowspan="2">出口 信吉</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>環境・新素材</td> <td>55件</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="515 622 1449 734">(5) 情報提供事業 ホームページ、メールマガジン等により随時、実施事業や県、国、支援機関における各種支援施策等に関する情報を提供</p> <p data-bbox="515 779 1449 936">(6) 協議会及びフォーラムの連携 各協議会が開催したセミナー、人材育成講座等においてフォーラム会員の参加を広く呼びかけたほか、フォーラム事業における交流やコーディネーターを介した情報交換等により連携を図った。</p>	分 野	コーディネーター等	相談等対応件数 (R5. 3. 31現在)	自動車	岩下 隆	55件	航空宇宙	田代 真一	85件	医療福祉機器	鈴木 薫	113件	AI・IoT・ロボット	とちぎビジネスAIセンター	271件	光学	出口 信吉	15件	環境・新素材	55件
分 野	コーディネーター等	相談等対応件数 (R5. 3. 31現在)																			
自動車	岩下 隆	55件																			
航空宇宙	田代 真一	85件																			
医療福祉機器	鈴木 薫	113件																			
AI・IoT・ロボット	とちぎビジネスAIセンター	271件																			
光学	出口 信吉	15件																			
環境・新素材		55件																			
<p data-bbox="150 981 459 1012"><b>2 人材育成・確保支援</b></p> <p data-bbox="150 1021 485 1169">各産業分野や技術領域において求められる質の高い多様な人材の育成・確保のための取組を実施</p>	<p data-bbox="515 1021 1046 1052">(1) 医療福祉機器産業次世代人材育成事業</p> <p data-bbox="539 1061 1046 1093">○医療福祉機器産業次世代人材育成講座</p> <p data-bbox="571 1102 746 1133">(R4. 11. 2, 4, 9)</p> <p data-bbox="539 1142 1449 1254">参入を検討する上で理解しておくべきポイントや市場動向・技術動向、開発・商取引、法規制・保険制度などの基礎知識を広く習得する講座を開催</p> <ul data-bbox="571 1263 1385 1411" style="list-style-type: none"> <li>・講師：mk DUO(同)、介護ロボット経営実践会/(株)とげぬき(株)船井総合研究所、(株)メディカルラボパートナーズ(公財)テクノエイド協会、国際医療福祉大学</li> <li>・参加：延べ20社、30名</li> </ul> <p data-bbox="515 1478 1018 1509">(2) 次世代型医療福祉機器開発促進事業</p> <p data-bbox="539 1518 849 1550">○拡大連携促進セミナー</p> <p data-bbox="539 1559 1449 1630">未来3技術を活用した医療福祉機器の創出に向けた連携体構築機運醸成のためのセミナーを開催</p> <p data-bbox="571 1639 858 1671">(R5. 3. 10・オンライン)</p> <ul data-bbox="571 1680 1417 2065" style="list-style-type: none"> <li>・第1部：「医工連携による機能性レンズ開発」 講師：(株)ホプニック研究所 営業部 部長 富山 晃義 氏</li> <li>・第2部：「清潔な器械台車の搬送器具」 講師：アークテック(株) 専務取締役 荒川 智行 氏</li> <li>・第3部：「連携機会の創出、試作開発やマーケティングの進め方」 講師：(株)考える学校 代表取締役 (一社)日本医工ものづくりコモンズ 副理事長 柏野 聡彦 氏</li> <li>・参加：20社・団体、21名</li> </ul>																				

計 画 概 要	実 施 事 業
	<p><b>共 通</b></p> <p>(1) <b>現場改善支援事業</b>  日産自動車(株)の協力により、生産性向上や在庫削減等の現場改善活動を支援</p> <p>○<b>現場改善講師派遣事業</b>(H21.1～)(ファンド事業※)  ※ とちぎ未来チャレンジファンド活用助成事業(以下同じ)  日産自動車(株)社員が支援企業に赴き、生産現場改善を直接指導  ・支援企業：3社(2年目企業:1社、1年目企業:2社)  ・協力：日産自動車(株)APW改善コンサルティング室</p> <p>(2) <b>企業概要説明会</b>  新卒者採用の円滑化に向け、大学等と連携し企業概要説明会を開催</p> <p>○<b>宇都宮大学</b>(R5.3.1～10・対面)  13社参加 240名</p> <p>○<b>帝京大学</b>(R5.2.6～9・対面 / R5.2.13～16・オンライン)  10社参加 2/6～9 231名 2/13～16 107名</p> <p>○<b>足利大学</b>(R5.3.7～9・オンライン)  11社参加 333名</p> <p>○<b>小山工業高等専門学校</b>(R4.10.5・対面)  13社参加 156名</p> <p>○<b>関東職業能力開発大学校</b>(R5.1.28・オンライン)  3社参加 101名</p> <p>○<b>県央産業技術専門学校</b>(R5.3.3,7・オンライン)  28社参加 354名</p> <p>※ 参加(閲覧)学生数は、説明会に参加(サイトへアクセス)した延べ人数(非会員企業への訪問数も含む)である。</p>
<p><b>3 研究開発支援</b>  加工技術や製品等の具体的研究・開発等を進めるため、研究会、助成事業等を実施</p>	<p>(1) <b>次世代型医療福祉機器開発促進事業 拡大連携マッチング事業</b>  次世代型医療福祉機器製品の開発に向けた企業シーズ、医療福祉系大学からの医療・福祉ニーズ、最新の未来技術について意見交換できる場を提供するとともに、コーディネーターによる創出された開発テーマのプロジェクト化の支援を実施</p> <p>○<b>シーズピッチ・ニーズ研究会</b>  14テーマによる研究会を開催  ・コーディネーター  (株)考える学校 代表取締役  (一社)日本医工ものづくりコモンズ 副理事長 柏野 聡彦 氏</p> <p><b>共 通</b></p> <p>(1) <b>戦略3産業分野における共同研究</b>  戦略3産業における技術開発を支援するため、波及効果が高いテーマについて、企業等と産業技術センターが共同研究を実施  ・「加速度センサを用いたインプロセス工具摩耗監視システムの開発」(航空宇宙)  参加企業：1社</p>

計 画 概 要	実 施 事 業
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「海洋生分解性バイオマスプラスチック/天然鉱物複合材料の開発」 (自動車、環境・新素材) 参加企業：2社</li> <li>(2) 先進的技術・製品開発支援補助金 県内中小企業が連携し、戦略3産業等における未来3技術を活用した先進的な技術や製品の開発等に要する経費の一部を助成(助成率1/2以内、限度額2,000万円) ・実績：3件</li> <li>(3) オープンイノベーションプロジェクト支援補助金 戦略3産業等の抱える課題を、未来3技術を活用してオープンイノベーションにより解決する取り組みについて、産学官金連携体の連携構築を支援するほか、研究開発に要する経費を助成(助成率 定額、限度額 250万円) ・実績：2件</li> <li>(4) 技術高度化助成(ファンド事業) 会員企業が行う技術の高度化、新技術の開発等に要する経費の一部を助成(助成率2/3以内、限度額300万円) ・実績：2件</li> </ul>
<p><b>4 販路開拓支援</b> 取引拡大を図るため、展示会の開催や会員情報発信等を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 販路開拓スキルアップ事業【自動車との合同事業】 自社の技術、製品の売り込み手法の研究(事前研究)、商談の場における成果の実践(展示・商談)、振り返りによる改善(フォローアップ)を通じて会員企業の販路開拓・拡大等を支援 ・参加：8社</li> <li>①事前研究 ・開催日：R4. 8. 25, 26 ・会 場：栃木県庁北別館会議室204 ・講 師：(株)シャベリーズ 丸山 久美子 氏</li> <li>②HOSPEX Japan 2022への出展 ・会 期：R4. 10. 26～28 ・会 場：東京ビッグサイト(東京都江東区) ・来場者：7,945名</li> <li>③フォローアップ ・開催日：R4. 11. 24(オンライン) ・講 師：(株)シャベリーズ 丸山 久美子 氏</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">共 通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ものづくり企業技術提案事業 県内外のニーズ元企業から収集した開発・調達ニーズに対し会員企業がソリューションを提案する機会を設定 ・提案実績：なし</li> </ul>

計 画 概 要	実 施 事 業
	<p>(2) <b>展示会出展助成(ファンド事業)</b>  各種展示会への出展に要する経費の一部を助成(助成率2/3以内、限度額100万円)  ・実績：11件</p> <p>(3) <b>品質マネジメントシステム認証取得支援(ファンド事業)</b>  販路開拓に必要な品質マネジメントシステムの認証取得助成(助成率2/3以内、限度額100万円[申請料、初回登録料等])  ・実績なし</p> <p>(4) <b>会員情報等発信</b>  ・栃木県ものづくり企業ガイドブックの配付  ・県のホームページで協議会及び会員企業の情報を発信</p>
<p><b>5 企業立地支援</b>  誘致インセンティブの強化等により、関連企業の集積拡大等を促進</p>	<p style="text-align: center;"><b>共 通</b></p> <p>(1) <b>地域未来投資促進法による支援</b>  地域未来投資促進法に基づき県が作成した基本計画（計画期間：R5.3.31まで）において定められた地域の特性を活用し、県が定めた一定の付加価値額及び地域の事業者に対する経済的効果が見込まれる事業（地域経済牽引事業）を行う民間事業者に対し各種支援を実施  ・実績：会員3件  《主な支援制度》  ①税制による支援措置  ②金融による支援措置</p> <p>(2) <b>地域再生法による支援</b>  地域再生法に基づく「とちぎ本社機能立地促進プロジェクト」（計画期間：H28.3.15～R6.3.31）において、県知事に計画を申請し認定を受けた事業者の本社機能等の移転・拡充を支援  ・会員実績なし  《主な支援制度》  ①オフィス減税の特例措置  ②雇用促進税制の特例措置  ③中小企業基盤整備機構による債務保証  ④日本政策金融公庫による中小企業向け低利融資</p> <p>(3) <b>立地支援関係の県補助金</b>  ①<b>栃木県企業立地・集積促進補助金</b>  本県への企業立地、研究開発機能や本社機能を有する工場等の立地を促進するため、土地の取得・建物の新築等に対して補助  ・実績：会員1件  ②<b>栃木県産業定着集積促進支援補助金</b>  県内で長年生産活動をする既存企業の工場等の新增設、建替えに対する補助  ・実績：会員2件</p>

計 画 概 要	実 施 事 業
	<p>③栃木県本社機能等立地支援補助金 企業の地方拠点化を図るため、本社機能等を県内に設置する場合のオフィス賃借料に対して補助 ・会員実績なし</p> <p>④栃木県オフィス移転推進補助金 県外企業がリモートワークを推進するために地方への移転や分散をする目的で、県内にオフィスを設置する場合の賃借料に対する補助 ・実績：会員1件</p>
<p><b>6 資金調達支援</b> 戦略3産業・未来3技術等の分野における円滑な資金調達を支援</p>	<p><b>共 通</b></p> <p>(1) 産業政策推進資金 ○重点政策推進融資 県が戦略的に推し進める産業施策に取り組む企業を対象とした県制度融資による優遇資金 ・会員実績なし</p> <p>(2) 産業立地促進資金 ①新規立地促進融資 各種法令等に基づく県内工場適地や県内産業団地への工場等新設に対する融資 ・会員実績なし</p> <p>②グローアップ融資 先進的な大規模投資等に対する融資 ・会員実績なし</p>
<p><b>7 新型コロナウイルス感染症対策等支援(県工業振興課事業)</b> 新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰等対策に資する取組を支援</p>	<p><b>共 通</b></p> <p>(1) 戦略3産業経営強靱化技術アドバイザー派遣事業 新型コロナウイルス感染症の拡大により、売上に大きな影響を受けている戦略3産業に携わる中小企業の新分野進出や新事業創出を支援 ・実績：9社</p> <p>(2) (公財)栃木県産業振興センターへの受発注相談窓口の設置 新型コロナウイルス感染症の流行により、部品等の取引に影響を受ける県内企業を支援するため、相談窓口を設置 ・実績：相談件数76件 ※ R5.3末現在</p> <p>(3) ものづくり産業物価高騰等対策支援補助金【補正予算により追加】 エネルギーや原材料等物価高騰等の影響を軽減させるため、県内企業が行う生産コスト抑制に向けた省資源化・高効率化に資する取組又は安定的に調達可能な代替原材料への転換に向けた取組に対して助成(助成率1/2以内、限度額400万円) ・実績：16件</p>

計 画 概 要	実 施 事 業
<p><b>8 カーボンニュートラル実現に向けた産業成長推進支援</b></p> <p>カーボンニュートラルの実現に向けた「経済と環境の好循環」の創出のための事業者の取組を支援</p>	<p style="text-align: center;"><b>共 通</b></p> <p><b>(1) カーボンニュートラル経営セミナー</b>  経営層を対象に、国や企業等のトップクラスのカーボンニュートラル実現に向けた動向や考え方等を紹介するセミナーを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：令和5年2月3日(金) 13:30～16:00</li> <li>・場所：ライトキューブ宇都宮（及びオンライン）</li> <li>・講演：①「中小企業のカーボンニュートラル戦略について」  講師：(株)日刊工業新聞社 松木 喬 氏</li> <li>②「中小企業のカーボンニュートラル戦略について」  講師：日本自動車部品工業会 環境対応委員会  LCA 分科会主査 棚橋 昭 氏</li> <li>・参加者数：296名</li> </ul> <p><b>(2) 新産業創出支援事業</b>  カーボンニュートラル実現に向けた新産業分野における革新的な技術開発やシステム構築等に対して、経費の一部を助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FS 調査に対する助成 1 件</li> <li>・インキュベーション研究に対する助成 2 件</li> <li>・実用化開発に対する助成 2 件</li> </ul> <p><b>(3) 製造工程脱炭素化促進事業</b>  製品製造時におけるCO2削減など、サプライチェーン全体での脱炭素化の潮流に対応し、県内企業における製造工程の脱炭素化を促進するため、セミナーの開催やアドバイザー派遣、モデル創出事業、グループワークを実施</p> <p><b>①製造工程脱炭素化促進セミナー</b>  サプライチェーン全体での脱炭素化の潮流やそれに対する事例等を紹介するセミナーを開催(R4.6.10・オンライン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演①：「カーボンニュートラル社会に向けた製造業への期待」  講師：(一社)サステナブル経営推進機構  コンサルティング事業部 部長 鶴田 祥一郎 氏</li> <li>・講演②：「サプライチェーンでのCO2排出量の考え方  ー企業の取組事例紹介ー」  講師：(一社)サステナブル経営推進機構  コンサルティング事業部 企画開発室 室長 伊藤 聖子 氏</li> <li>・参加：31社・団体、75名</li> </ul> <p><b>②製造工程脱炭素化促進アドバイザー派遣事業</b>  企業ごとに異なる個社の課題や各企業に応じた設備の投入等について助言するアドバイザー派遣事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績：8社</li> </ul> <p><b>③製造工程脱炭素化モデル創出事業</b>  「製造工程脱炭素化促進アドバイザー派遣事業」のアドバイザーから助言を受けた企業で、CO2削減効果が高いと認められる取り組みに対する</p>

計 画 概 要	実 施 事 業
	<p>助成を行い、モデル企業を創出  ・実績：3件</p> <p><b>④製造工程脱炭素化促進グループワーク</b>  製造工程脱炭素化に資する改善策や取組事例等の横展開による県内企業への波及を目指すため、専門家派遣やモデル創出事業を受けた企業を中心に意見交換等を行うグループワークを開催(R5. 3. 23)  ・場所：栃木県庁研修館402  ・参加：13社・団体、16名</p> <p><b>(4) 脱炭素化技術育成支援事業(栃木県産業振興センター基金事業)</b>  県内企業の脱炭素化に資する技術を研究の初期段階から育成支援するため、技術開発に要する経費の一部を助成(助成率2/3以内、限度額500万円)  ・実績：2件</p> <p><b>(5) 脱炭素化技術実用化促進事業</b></p> <p><b>①脱炭素化社会実現技術研究会事業</b>  県内企業の脱炭素化の課題解決のために、最新技術情報を提供する研究会及び技術・ノウハウの蓄積を図るワーキンググループ(WG)を実施する。  ・テーマ：マルチマテリアル化技術、再生材料・バイオプラスチック関連技術  ・開催回数：研究会 3回、WG 計5回(マルチマテリアル3回、再生材料・バイオプラスチック2回)  ・参加：延べ112社、181名</p> <p><b>②環境関連大型展示会共同出展事業</b>  脱炭素関連の大規模展示商談会へ共同出展し、県内企業の販路開拓・拡大等を目指す。  ・参加：9社  ○第2回脱炭素経営EXPO春  ・会期：R5. 3. 15～17  ・場所：東京ビッグサイト(東京都江東区)  ・来場者：65,196名</p> <p><b>③脱炭素製品購入促進事業(とちぎカーボンニュートラルGoods)</b></p> <p><b>ア. 商品認定制度</b>  県内中小企業等が開発した脱炭素に資する商品を県において認定することで、県における随意契約を可能とし、県内企業の販路拡大を目指す。  ・認定商品：2商品</p> <p><b>イ. 展示会出展</b>  上記認定を受けた製品の展示会の開催等を行うことで認定商品の販路拡大を目指す。</p>



計 画 概 要	実 施 事 業
	<p>○県職員向け展示会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間：R5.3.24～4.24</li> <li>・場 所：県庁本館2階ガラスケース</li> </ul> <p>○ものづくり企業展示商談会を通じたPR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間：R5.3.15～17</li> <li>・会 場：第2回脱炭素経営EXPO春</li> <li>・内 容：認定商品紹介をポスター等でPR</li> </ul> <p>(6) <b>カーボンニュートラル推進融資</b>  脱炭素化に資する製品・技術の開発や設備導入等に取り組む企業を対象とした県制度融資</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績なし</li> </ul> <p>(7) <b>サービス産業カーボンニュートラル機運醸成事業</b>  サービス産業の脱炭素化促進のための講演会・ピッチイベントを開催</p> <p>○脱炭素社会への挑戦と提案（R4.11.21）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会テーマ：「中小企業にとっての気候変動対策」</li> <li>・ピッチ企業数：8社</li> <li>・会 場：栃木県庁本館6階大会議室1、及びオンライン</li> <li>・参 加：161名（県内外の中小企業、支援機関等）</li> </ul>